

広報

お お の



平成16年(2004年)

6月号

No. 705

大野うたとこ ②7

専福寺の大ケヤキ

	ページ
スポーツで生き生きライフ…	2～ 5
おおの子どもサマーフェスタ…	6～ 7
市民のページ…	10～11
話題の広場…	12～13
お知らせ…	14～15

ホームページ <http://www.city.ono.fukui.jp/>
Eメール yamabiko@city.ono.fukui.jp

古紙配合率100%再生紙を使用しています

大野市スポーツ振興計画を策定

明るく活力ある社会へ



ライフ

”生涯スポーツ”楽しく

皆さんは、スポーツに対してどのようなイメージを持っていますか。

競技スポーツに代表される「競争」や「特別な人がするもの」というイメージを持っている人が多いのではないのでしょうか。

しかし、スポーツの語源には「楽しみ」や「気晴らし」といった意味があり、本来、だれもが気軽に、生涯にわたって親しめるものなのです。

振興計画の柱は

市では、明るく豊かで活力ある社会の実現を目指し「大野市スポーツ振興計画」を策

スポーツは、人生を豊かで充実したものにしてくれる世界共通の文化です。市では、スポーツを通し、明るく活力ある社会を実現するため「大野市スポーツ振興計画」を策定しました。

定しました。

計画の柱は

- スポーツ環境の整備・充実
- レベルの高い競技者の育成
- 生涯スポーツ・競技スポーツと学校体育との連携

の三点です。計画では平成十六年度から、おおよそ十年間の目標を設定し、その達成に向けた方策を示しました。

具体的な目標としては

- ・だれもが、いつまでもスポーツに親しめる社会の実現
- ・成人が週一回以上スポーツをする比率を、三割程度から五割へ

・市民に夢や感動を与えるレベルの高い競技者の育成などとなっています。



スポーツで生き生き



総合型クラブを育成

計画の核となるのが、総合型地域スポーツクラブの育成です。総合型地域スポーツクラブとは、さまざまな世代がそれぞれの目的に合わせ、幅広くスポーツに親しむことを目的としたクラブです。

スポーツ人口の拡大や生涯スポーツの推進をはじめ、指導者の資質向上や一貫指導による優秀な選手の育成、またスポーツ施設の有効利用や地域コミュニティ形成などの効果が期待されます。

今後の振興方向を示す

市の人口の将来推計では、二十年后に、市民のほぼ三人に一人が六十五歳以上になると予測されています。

このように急速な高齢化が進む中、市民一人ひとりが健

康で、明るく活力ある生活を送ることは、市全体の活力を維持していく上でも重要な課題となっております。

今回の振興計画は、長期的なまちづくりの方向を示した「第四次大野市総合計画」や市の健康づくり計画「健康おの21」、さらには県の「教育振興ビジョン」との整合を図り、今後のスポーツ振興の方向を示したものです。

計画に基づく施策の実施については、その進み具合を確認・点検し、見直しを加えながら進めていきます。



「大野市スポーツ振興計画」の内容は

環境の整備・充実

▼だれもが日常的に、生涯にわたってスポーツを楽しめる社会の実現へ向け、総合型地域スポーツクラブを育成する。

▼多様化するスポーツニーズに対応できる、質の高い指導者を養成する。

▼公共スポーツ施設のナイター設備や、安全なウォーキングコースの整備など、魅力あるスポーツ空間の充実に努める。

▼市のホームページや、年一回発行する「大野市スポーツだより」の内容を充実させ、各種スポーツ情報を広く提供する。

▼地域の人たちが、主体的に取り組むスポーツ活動への支援を行う。

レベルの高い競技者の育成

▼学校の部活動やスポーツ少年団などと連携し、所属する組織が変わっても、継続

して適切な指導を受けられる体制を整備する。

▼優秀な競技者や指導者を招き、レベルの高い競技会や講習会を開催する。

生涯スポーツ・競技スポーツと学校体育との連携

▼地域のスポーツ指導者を、学校体育に活用する。

▼学校体育施設の、地域との共同利用を進める。

▼学校体育を充実させ、子どもたちが生涯にわたってスポーツに親しめる資質や能力を育成する。

▼実技を含んだ研究会や講習会を開催し、教員の指導力を向上させる。

▼グラウンドの芝生化や、使っていない教室の活用など、体育施設の充実を図る。

▼興味や関心に応じて、複数の種目を体験できる部活動の取り組みを促進する。

▼地域スポーツ活動との協力体制を整備し、部活動の充実・改善を図る。

「みんスポクラブ」本格活動を開始

会員が育てるクラブ

市が育成を目指す地域総合型スポーツクラブ「みんスポクラブ」が四月から本格的に活動を開始しました。

これは、市のクラブ構想に賛同した市民有志による「クラブ育成推進グループ」が立ち上げたもので、今後も市と連携を取りながら活動を続けていきます。

クラブに参加する会員は、実際にスポーツを体験することとはもちろん、活動内容の企画・運営や練習の指導など、さまざまな面からスポーツに関わることが可能です。

企画や運営を担当



みんスポクラブ理事長
朝日正幸さん
(美川町)

「みんスポクラブ」という名称には、子どもからお年寄り



活発な意見を交わす運営会議

までみんなでスポーツを楽しもうという意味が込められています。健康や楽しみ、技術向上など、それぞれの目的に合わせて、生涯にわたってスポーツを楽しめる環境を、会員みんなで作っていききたいと思います。このクラブは、まだ立ち上がったばかり。これからクラブの存在や目的を一人でも多くの人に知ってもらい、市内全体に会員の輪を

広げていきたいですね」
いろいろな種目を体験



水上翔平くん
(陽明町二丁目)

「サッカーをしたり、バレーボールをしたり、いろいろなスポーツができるから楽しい。クラブに入って新しい友だちもできたよ。一番うれしいのは、練習してうまくなったときかな。もっとうまくなって、将来はサッカーの日本代表になりたいな」

指導員として参加



米村きく代さん・左
(日吉町)
泉 ツヤコさん・右
(若杉町)

「毎週木曜日に保健センタ

ーで、リズム・健康体操の指導をしています。簡単な体操なので、年齢や経験に関係なく気軽に参加できますよ。体づくりをはじめ、肩こりや腰痛にも効果抜群。続けるうちに背すじが伸びて、体が軽くなるのが分かります。この体操の魅力は、楽しみながら健康になれるところ。あまりスポーツをする機会がない人に体を動かす楽しさや、健康になる気持ち良さを知ってもらえたらうれしいですね」



軽快な音楽に合わせてリズム体操



豊富なメニューを設定

みんスポクラブでは現在、四つのコースで約二十種類のメニューを設定しています。個人競技や団体競技、レクリエーションスポーツなど、幅広い種目がそろっています。

いろいろなやってみよう・たのしもうコース

小学生からお年寄りまで、だれでも気軽に楽しめるコースです。ゲームを交えながら基礎から練習。初心者でも安心です。いろいろな種目を経験して、自分に合ったスポーツを見つけてください。

やってみよう・しっけてみようコース

好きな種目を自分のレベルに合わせて、定期的に続けるコースです。幅広いメニューがそろっています。

種目 硬式野球、サッカー、テニス、ソフトテニス、バ

ウンドテニス、バレーボール、バドミントン、陸上、相撲、太極拳、リズム・健康体操など

ちょっと専門・レベルアップコース

経験があつて、もう少しレベルアップしたいという人には、このコースがお勧め。各メニューに指導者がつき、専門的な指導を行います。

目指せ！トップアスリートコース

県大会や全国大会、さらには世界で活躍できるように、レベルの高い競技者を育成するコースです。みんスポクラブで、世界のトップアスリートを目指しましょう。

より充実した活動に向け

これらのほかにも新しいコースや種目を検討中です。会員の意見や要望を取り入れながら、さらにメニューを増

「みんスポクラブ」に期待します



前川 太さん
(下掘)

上庄長生会「ソフトバレーボール部」代表

心も体も健康に

健康づくりや仲間づくりを目的に、地区の老人会でソフトバレーをしています。週2回の練習が、いい運動になりますね。練習中はスパイクが決まるたびに大喜び。失敗しても「ドンマイ」と笑顔で励まし合います。いつも大きな声で笑っているので心も体も健康ですよ。みんスポクラブも、明るく参加しやすいクラブになるといいですね。



小村治樹さん
(下麻生島)

バスケットボールチーム「ジュピター」キャプテン

好きだから楽しい

学校を卒業してもバスケットボールを続けたいと思い、平成4年にチームをつくりました。メンバー全員バスケットが大好きで、練習や試合では、夢中になってボールを追いかけています。好きだから真剣になれるし、真剣になるから楽しい。みんスポクラブには、子どもたちがスポーツの楽しさを実感できるようなクラブになってほしいと思います。

やしていきます。

また体力診断や奉仕活動、会員同士の交流イベントなども計画しており、スポーツにとどまらず、健康や福祉、文化活動も加えたクラブに発展させていく予定です。

どとも連携を取りながら、さらなる内容の充実や会員の拡大を目指します。

問い合わせ先

スポーツ課 ☎66・1111
1内線531 みんスポクラブ ☎66・1990



—市制50周年記念事業—

おおの子どもサマーフェスタ



子ども環境塾

●水環境塾

期間 7月3日(土)～9日(金)
 場所 文化会館・市内河川
 内容 3日午後:淡水生物に関する講演会や小・中学生による事例発表
 ▷4日午前:水辺での現地講座
 ▷3～9日:パネル展示

対象 小・中学生

定員 3日:200人、4日:40人

申込期間 6月1日(火)～21日(月)

申し込み・問い合わせ先

〒912-8666 大野市天神町1-1
 市生活環境課環境保全係 (☎66・1111内線462 ☎65・8371)

定員 125人

申込期間 6月1日(火)～30日(水)

申し込み・問い合わせ先

〒912-0003 大野市東大月14-16
 クリーンセンター(☎65・6120
 ☎65・6430)

●イトヨ塾

月日 7月4日(日)

場所 本願清水イトヨの里

内容 イトヨの木工模型作り

対象 市内小学校低学年の親子

定員 先着20組

申込期間 6月5日(土)～20日(日)

申し込み・問い合わせ先

〒912-0054 大野市糸魚町8-44
 本願清水イトヨの里
 (☎☎65・5104)

●リサイクル塾

月日 7月22日(土)

場所 有終会館

内容 リサイクル実験教室(手すきはがき、紙パックの笛、ペットボトルで綿マスコットなど)

対象 小学校高学年

※いずれも申し込みは、郵便、電話、ファクスで、氏名・年齢・住所・電話番号・学校名を連絡

大野市は昭和二十九年に誕生し、七月一日で五十周年を迎えます。これを記念し、七月から八月にかけて、子どもや子育てをテーマとした「おおの子どもサマーフェスタ」などのイベントを開催します。



まめ記者参上!

期間 7～8月(1回目の集まりは7月3日(土))

内容 「子どもサマーフェスタ」の取材や「子ども広報」の作製、新聞社・テレビ局の見学など

対象 市内の小学5・6年生

定員 15人

申込方法 所定の申込書に必要事項を記入し、各小学校または市役所情報広報課へ提出

※申込書は各小学校で配布します

申込締切日 6月15日(火)

申し込み・問い合わせ先

情報広報課広報広聴係
 (☎66・1111内線441)



子ども人形浄瑠璃



日時 8月7日(土)午後4時～

場所 文化会館

内容 兵庫県南淡町の南淡中学校郷土芸能部による「淡路人形浄瑠璃」公演

問い合わせ先 総務課行政係
 (☎66・1111内線244)

記念イベント日程

月日	イベント名
7月1日㊥	市制施行50周年記念式典
3日㊥	子ども環境塾（水環境）講演会・事例発表会・パネル展
4日㊥	子ども環境塾（水環境）現地講座 子ども環境塾（イトヨ）木工教室
18日㊥	子育て大討論会
22日㊥	子ども環境塾（リサイクル）実験教室
26日㊥	大相撲力士と子どもとのふれあい事業 （8月8日㊥まで）
8月7日㊥	子ども人形浄瑠璃
14日㊥	SHIROMATSURIキッズフェスタ
28日㊥	チルドレンズ・ミュージアムinおおの （29日㊥まで）



その他イベント

●子育て大討論会

月日 7月18日㊥

内容 子育てに関する討論会や、河合雅雄さん（京都大学名誉教授）による講演など

問い合わせ先 福祉課児童福祉係
（☎66・1111内線474）

●大相撲力士と子どものふれあい事業

期間 7月26日㊥～8月8日㊥

内容 相撲教室、ちゃんこ体験など

場所 エキサイト広場

問い合わせ先 スポーツ課（☎66・1111内線532）

●子ども朝市

期間 7～10月

内容 市内の小学生が農作業や朝市を体験

問い合わせ先 学校教育課（☎66・1111内線522）



SHIROMATSURI キッズフェスタ

月日 8月14日㊥

場所 文化会館

●創作会場

内容 紙灯ろうを作って「越前おおの城まつり」のまちなか会場を明るく彩ります

対象 小学3年生以上（先着50人）

材料費 300円

持ち物 はさみ、のり、セロハンテープ、ホチキス

●ステージ会場

内容 テレビ番組「できるかな」でおなじみのノッポさんによる楽しいステージや、元気が出る「運動あそび」など

対象 小学2年生以下の親子（先着250組）

申込方法 郵便、電話、ファクスで、参加する全員の氏名・年齢・住所・電話番号を連絡

申込期間 6月14日㊥～7月23日㊥（定員になり次第締め切り）

申し込み・問い合わせ先

〒912-8666 大野市天神町1-1

市役所商工観光課観光係

（☎66・1111内線333 ☎65・8849）



チルドレンズ・ミュージアム in おおの

月日 8月28日㊥ 29日㊥

場所 有終会館

内容 工作教室や科学体験イベント、約50種類の展示プログラム（人力発電に挑戦・宙に浮かぶボール・一円玉浮かぶかな?など）

その他 工作教室は材料費が200円かかります

問い合わせ先 社会教育課社会教育係
（☎66・1111内線541）

『議会だより』総集版

『おおの議会だより』総集版を7月に発行します。

昭和29年～44年までの「広報おおの」の議会関係記事を抜粋したものと「おおの議会だより」の第1号（昭和45年発行）～142号（平成16年4月発行）をまとめたものです。

希望者に1冊1万円で販売します。数に限りがありますので、早めに申し込みください。
※A4版・クロス張り表紙・ケース付き

申込締切日 6月11日㊥

申し込み・問い合わせ先

議会議務局議事調査係（☎

66・1111内線251）

『大野のあゆみ』改訂版

大野の歴史書として親しまれてきた『大野のあゆみ』改訂版を7月に発行します。

市内全戸と各小・中学校に無料配布するほか、希望者には、文化振興室と郷土歴史館で有料販売も行います。

価格 500円

問い合わせ先 文化振興室（☎66・1111内線547）



お風呂でリラックス



日本人は、世界でも有数の「お風呂好き」だといわれています。お湯につかり、心身の疲れをいやしながら、ゆっくりとくつろげる時間……。今回は、そんな入浴について考えてみましょう。

入浴の効果

足腰の負担が軽く

お風呂の中では、浮力により体重が約十分の一になります。のんびり体を伸ばしているだけで、足腰が日ごろの負担から解放され、手足を動かすなどの軽い運動をすれば、筋力アップなどにも効果があります。

天然のマッサージ

入浴中は、体に水圧がかかります。この水圧が天然のマッサージとなり、足の疲れやむくみを取り除くほか、肝臓や脾臓（ひぞう）の機能を高めてくれます。

ただし、肺や心臓の弱い人には、かえって負担になることがあります。長くつかりたいときは、水圧の負担が小さい半身浴をお勧めします。

新陳代謝を促進

お湯の温かさが血行を良くして新陳代謝を促進。二酸化炭素や尿素など、体に不要なものを外へ出してくれます。

【健康おおの21】今月のキャッチフレーズ
あっ宝んどで
心ゆったりくつろぎタイム

～ちょっと気になる健康料理～

小松菜とキノコの煮浸し

（エネルギー：38kcal 塩分：0.5g / 1人前）

かつお節とゴマの風味で、塩分が控えめでもおいしくいただけます。

- ①小松菜は、ゆでてから水に浸し、水気を絞って4等くらいに切る
- ②シメジ、エノキダケは石づきを取り、シメジは小房に、エノキダケは半分の長さに切ってほぐす。シメジとエノキダケを、さっとゆでて、ざるに上げる
- ③白ゴマはすり鉢ですっておく
- ④①、②をAであえて出来上がり

材料（4人分）

- 小松菜……………200g
- シメジ……………80g
- エノキダケ…80g
- A しょうゆ…小さじ2
- 砂糖……………小さじ1
- かつお節……………8g
- 白ゴマ……………大さじ1



メニュー考案：食生活改善推進員（若葉会）

また筋肉や関節の痛みも和らぎ、発汗も円滑になります。疲労回復には、ぬるめの湯に十～十五分程度つかるとの効果が期待できます。

こんなときは要注意

酒を飲んだ後

飲酒と入浴で血行が良くならず、心臓などに負担が掛かります。湯上がりには脳貧血の危険もあります。

ごはんを食べた直後

血液が皮膚や腎臓（じんぞう）に集まるため、食べ物の消化吸収が悪くなります。食後は三十分～一時間の休憩を

取って入浴しましょう。

スポーツの直後

入浴で血行が良くなると血液が体中に分散し、筋肉の疲れがとれなくなってしまうます。スポーツの後は、三十分程度の休憩を取って入浴しましょう。

あっ宝んどで健康に

お風呂とプールを一緒に楽しむ「あっ宝んど」は、健康づくりに最適です。温浴施設は午前10時～午後10時、プールは午前10時～午後9時三十分まで利用できます。

皆さんの健康づくりを後押しします。保健センター（☎65・7333）

6月は「環境月間」



六月は「環境月間」。そして六月五日は「環境の日」です。近年、水質汚濁やごみ問題に加えて、地球温暖化やオゾン層の破壊など、地球規模の環境問題が起っています。今回は、身近なところから始められる環境保全の取り組みを紹介します。

クリーンアップ大作戦

県では、毎年六月の第一日曜日に「クリーンアップふくい大作戦」を行っています。これは、県内一斉にさまざまな環境美化活動を行い、自分たちの住む地域をきれいにしようというものです。

今年も、六月六日(日)に市内各地で、空き缶拾いなどの清掃活動が行われます。みんなに参加して、住んで気持ちのいいまちを目指しましょう。

マイバッグ持参運動

「マイバッグ持参運動」とは、日ごろから自分の買いかばんを持ち歩くことで、レジ袋の使用をやめ、ビニールごみの減量と石油資源の節約を図る取り組みです。

この取り組みを一人でもたくさんの人に知ってもらいために、六月一日、市内の消費者団体が「マイバッグキャンペーン」を展開します。ほんの少しの心掛けが、ご

アドバイス

暮らしの

「環境家計簿」家族を募集!

地球温暖化防止に向け、家庭で環境家計簿の作成に取り組む家族を募集します。

期間 8～10月

内容 環境家計簿を作成し、期間終了後、その家計簿を市へ提出

表彰 昨年の同時期と比べ、電気使用量の削減率が大きかった5家族を表彰

※参加賞、副賞があります

申込方法 所定の様式に必要事項を記入し、郵送・ファクス・Eメールで提出

※様式は生活環境課、各公民館、市ホームページで入手できます

申込期間 6月1日(日)～30日(金)

申し込み・問い合わせ先

〒912-8666 大野市天神町1-1

市役所生活環境課環境保全係

(☎66・1111内線463 ☎65・8371)

Eメール seikatu@city.ono.fukui.jp

ホームページ http://www.city.ono.fukui.jp/web_ono/view/view_h.asp?id=1533

消費生活に関するご相談は消費者相談センターへ ☎66・1111 内線 464 (市役所生活環境課)

みを減らし、環境を守ることにつながります。皆さんも一緒に、環境にやさしい買い物を実践してみませんか。

環境家計簿で 温暖化防止

地球温暖化の大きな原因として、家庭や自動車などから排出される二酸化炭素の増加が問題になっています。

「環境家計簿」は、各家庭の電気やガス、ガソリンなどの使用量を記録し、排出された二酸化炭素の量を計算するものです。

家庭から排出される二酸化炭素の量を確認することで、余分なエネルギーの消費を減

らすことができ、家計の節約にもなります。

環境にやさしい生活って?

環境にやさしい生活は、無理をせず、長く続けることが大切です。まずは簡単にできることから始めましょう。

▽同じテレビ番組は、家族で一緒に見る

▽お風呂は続けて入る

▽近所へ出掛けるときは、なるべく歩か自転車を使う

▽冷房は二十八度に設定する

▽買い物をするときは、必要なものを必要な分だけ買う

▽ものを捨てる前に、まず再利用を考える

ぐるーぷ登場

チャップス・ジュニア



四月三日に行われた旗揚げ式のあと、七月十日の旗揚げ公演で使用する脚本が子どもたちに渡されました。今回の作品は、二十五年前に劇団チャップスが、初めて上演した「まほう・ながれ星」を子ども用に書き直したものです。「子どもたちだけで舞台を作っていく楽しさを知ってもらいたい」と思い、児童劇団を立ち上げました。今回の配役についても、子どもたちにあ

旗揚げ公演がんばるぞー!

チャップス・ジュニアは、市民劇団チャップスを母体として結成された、大野初の児童劇団です。

メンバーは、三歳から中学生まで約五十人。劇団チャップスの定期公演などを行う中で、子役やコーラス、踊り手の一員として一緒に活動してきました。

四月三日に行われた旗揚げ式のあと、七月十日の旗揚げ公演で使用する脚本が子どもたちに渡されました。今回の作品は、二十五年前に劇団チャップスが、初めて上演した「まほう・ながれ星」を子ども用に書き直したものです。「子どもたちだけで舞台を作っていく楽しさを知ってもらいたい」と思い、児童劇団を立ち上げました。今回の配役についても、子どもたちにあ



今月のスナップ



アート作品でブランコ
(五箇の創作イベントにて)

■「広報おおの」では、皆さんの活動や意見など、さまざまな内容を募集しています。あなたも紙面に参加しませんか。
〒912-8666大野市天神町1-1
市役所情報広報課広報広聴係
(☎66・1111 内線441)
yamabiko@city.ono.fukui.jp



練習風景

らはじめ脚本を読んでもらって、自分が演じたい役を考えてきてもらいました。もちろん、みんな希望どおりの役を演じることはできませんが、子どもたち自身が自分の役割について考え、舞台の上で演じたり道具や衣装などを作ったりすることで、何かを感じてもらえれば」と代表の岩田美子さん。

熱心に練習に取り組む子どもたちは「今は早くせりふを覚えるのに一生懸命です。公演当日は緊張するかもしれないけど、見に来てくれる友達や家族が感動するよな舞台にしたい」とやる気満々。

旗揚げ公演当日は、劇団チャップスも公演

を行い、花を添えます。

チケットは、市役所文化振興室や図書館、文化会館などで今月中旬から発売予定。また劇団に入りたい人も募集しています。興味がある人は、岩田さんまでファクスで(☎67・11118)



その1

このコーナーでは、市が行っているさまざまな補助制度について紹介します。

一回目は高齢者福祉に関する補助制度です。

高齢者 はり・きゅう・マッサージ療養費助成

七十歳以上の人が、健康保険の対象外となっているはり・きゅう、マッサージを受ける場合、費用の一部を助成します。助成を受ける場合は、事前に福祉課で助成券の交付を受けてください。

申請する際は、
▽印鑑
▽氏名や年齢の分かるもの
(免許証や健康保険証)
を持参ください。

高齢者外出促進支援

六十五歳以上の人が、外出時に使用する電動車いすや歩

行器を購入する場合、費用の一部を補助します。補助を受けたい人は、事前に申請が必要です。

申請する際は、
▽印鑑
▽氏名や年齢の分かるもの
(免許証や健康保険証)
▽販売店の見積書と商品のカタログ

を持参ください。

申請は、十月末まで受け付けています。なお、以前に補助を受けて購入した人が買い替えをする場合は、補助の対象となりません。

補助名称	補助金額	持参するもの
はり・きゅう・マッサージ助成	500円券を6枚(年間)	印鑑 身分証明書
電動車いす購入	購入費の3分の1(限度額10万円)	印鑑 身分証明書 商品の見積書と カタログ
歩行器購入	購入費の3分の2(限度額1万円)	

問い合わせ先 福祉課高齢福祉係(☎66・1111 内線480)

とれたて 七間朝市情報



夏野菜いろいろ

ナスやトマト、キュウリ、ほうれん草などの夏野菜がお目見え。トマトは、ヘタの部分を取りミキサーに。お好みではちみつか塩を少々入れれば、健康トマトジュースの出来上がり。



山菜も豊富

ワサビやフキ

山菜やお花など、いっぱい取りそろえています。ぜひお越しください。

問い合わせ先 朝市出荷組合
(☎69・9520：月～金、午前中)

こんにちは

松田由美津さんは約四十年にわたり、原木シイタケを栽培しています。原木栽培は、クヌギやコナラなどの木に、菌を植えて栽培する方法です。原木の中に菌が十分広がるよう、山で寝かせたり冷水に浸したりしながら、自然とほぼ同じ状態



原木シイタケにこだわり

松田 由美津

さん（74歳・阿難祖領家）

育てます。作業のほとんどが手作業で、施設の中で育てる方法と比べると、かなりの重労働です。

また収穫までには最低でも六カ月、品種によっては二～三年かかるものもあり、手間や費用が掛かる上、収穫量も不安定といった理由から、原木栽培に取り組む人は全国的にも少なくなっているそうです。原木栽培にこだわる理由は「大野の水と木の養分を吸収したシイタケは、肉厚で香りも豊か。自然が育てるからこそその風味があります。塩をさつとふり、電子レンジで加熱して食べると、シイタケ本来の味がよく分かります」と教えてくれました。

このシイタケの味を、少しでも多くの人に知ってもらおうと、対面販売会などの各種イベントに参加。また、小学生を対象とした体験学習会も行っているそうです。

このようなこだわりや熱意が認められ、昨年九月には、国土緑化推進機構が、優れた森の技や知恵を後世へ伝えようと行った「森の名手・名人百人」に選ばれました。

「自分の作ったシイタケがたくさんの人から、おいしいと言ってもらえることが何よりうれしい。これからも健康でいられる限り、安全でおいしいシイタケを作り続けていきたいですね」と笑顔で話してくれました。

読書のススメ

『昭和台所なつかし図鑑』

小泉 和子著 平凡社刊



戦前から戦後にかけて台所で使われていた道具を紹介した本です。

現代の食生活は、冷凍やレトルトなどの食品が中心となり、それに伴い台所の道具も変化しました。氷で冷やす冷蔵庫や、ご飯を保温するための専用の布団などなつかしい道具がずらり。そのほか、当時の食生活に適した道具が、写真と一緒に紹介されています。

台所の道具を通し「食」について改めて考えさせられる1冊です。

みんなの図書館

新着図書

【ライクシオン】

臨場（横山秀夫） 他殺の効用（内田康夫） 妖怪といわれた男鳥居耀蔵（童門冬二） ジャンヌ・ダルクまたはロマ（佐藤賢一）

【アンフィクション】

次の生き方（森孝之） 大江戸八百八町（石川英輔） 人生讃歌（美輪明宏） 全日本「食の方言」地図（野瀬泰申） このろの二人三脚（NHK「こども」プロジェクト） 負け犬の遠吠え（酒井順子） ムーミン

【児童図書】

を読む（富原真弓）
ゴリラとあかいぼうし（山極寿一） トロールのばけものどり（ドーリア） 鹿よおれの兄弟よ（神沢利子） 双六（吉田修） やまとゆきはら白瀬南極探検隊（関谷敏隆） みんなであそぼう650のあそびのヒント集（有木昭久） やだ（井戸川克巳） カーディとお姫さまの物語（マクトナルド） ビーズ（森戸祐幸）
その他、三百四十一冊入りました。

「さわやか貯筋運動」

健康づくりを目的にした「さわやか貯筋運動」が5月1日、有終会館を中心に行われました。3回シリーズの1回目として、亀山ウォーキングとミニ体力測定を実施。参加した約150名は今後、自主的に行う運動を「貯筋カード」に記録し、その効果を確認していきます。



五箇の文化をPR

JR勝原駅近くの広場で4月24日、五箇を愛する市民有志による創作イベント「春水」が行われました。メインステージで「出作り」文化を表現したファッションショーをはじめ、会場内には、県内で創作活動に取り組む作家の作品が並んでいました。

なつかしい『大野の50年』

産業文化展示館で4月17日～5月9日にかけて、企画展「写真で振り返る 地域のニュース 大野の50年～あのことわたしは～」が開かれました。2度の豪雪や市政の記録を撮った写真パネル約500点を前に、昔をなつかしむ姿が見られました。



元船長が後輩にエール

松丸出身で貨物船の船長として世界を巡った松原貞夫さんが4月27日、尚徳中学校で講演を行いました。進路などを考える機会が増える2年生70人を前に、自分の体験談や夢に向かって努力することの大切さを語りました。

話題の広場

話題の広場



ポニーの引っ越し (4月20日)

行楽シーズンに向けて

観光シーズンを前に、市内各地で受け入れ準備が行われました。六呂師のミニ動物園では赤ちゃんポニーも生まれ、元気に走り回っています。旧橋本家は、日曜日、祝日と振替休日に一般公開されます。

皆さん
お越し下さい



旧橋本家 いるりの火入れ (4月29日)



仏御前の滝 さく起こし (4月23日)



山の幸どっさり

5月8日、9日の両日、七間朝市で恒例の「山菜フードピア」が開かれました。ゼンマイやウド、ワラビなど採れたての山菜がところ狭しと並べられ、市内外から来た買い物客が次々と山菜を買い求めていました。

荒島岳で初山開き

日本百名山の荒島岳で4月25日、初の山開きが行われました。「荒島愛山会」のメンバーや登山愛好者約200人が参加。安全祈願の神事に続いて記念登山が行われ、登山者らは、まだ雪の残る荒島岳を一步ずつ、自分のペースで登って行きました。



市制50周年記念「^{あいろ}響展」

大野ゆかりの画家、響さん^{あいろ}の作品展が5月8日～16日、有終会館で開かれました。会場には、市内の熱心なファンが持っていた作品や、収集家に呼び掛けて集めたものなど約350点を展示。鮮やかな虹色で描かれた独特の世界に、大勢の人が見入っていました。

身近な話題をお知らせください。

お知らせ 6月



建物の取り壊しや 売買などは届け出を

税務課

固定資産税は、毎年1月1日に所有している、土地・家屋・償却資産について課税されます（課税の基準日）。
建物の取り壊し・新増築・売買・贈与などを行い未登記の場合は、必ず市役所へ届け出てください。

国民年金 付加保険料で上乘せを

市民課

国民年金の保険料を納めている人が、付加保険料を上乘せして納めると付加年金を受給することができます。

付加年金は、老齢基礎年金の受給権を取得したときに、老齢基礎年金に加算されて支給されます。老齢基礎年金の繰り上げ、繰り下げ支給を受けたときは、付加年金も同じ率で増減額されます。

対象者 国民年金の第1号被保険者・任意加入被保険者
※保険料の免除を受けている人、国民年金基金に加入している人を除く

付加保険料 月額400円
付加年金額 年額200円×
付加保険料納付済月数

その他 年金額の物価スライドが行われても、付加年金額は改定されません
問い合わせ先 市民課国保年金係（☎66・1111内線456）

市営住宅の入居者募集

都市整備課

募集団地 西里団地
規格 3K風呂無・トイレ有
募集戸数 1戸

資格 一定の収入基準以内で

住宅に困っている人

家賃 月額6600円～1万9000円

申込締切日

6月23日☎

申し込み・問い合わせ先

都市整備課住宅緑地係（☎66・1111内線354）

児童手当の現況届 忘れずに手続きを

福祉課

すでに児童手当を受けている人は、6月中に次の書類を提出する必要があります。提出がない場合、6月分以降の支給が停止されます。

・6月1日の状況記載届
・年金加入証明書（受給者がサラリーマンなど被用者の場合）
・前住所地の所得証明（1月1日に市内に住所がなかった場合）

所得要件 支給を受ける要件に所得制限があります。この所得制限額は、年金の種類や税法上の扶養親族数などで変わります

※支給を受けている人が所得税にかかる更正の結果、所得額や扶養親族数などに変更があった場合、所得要件を満たさなくなることがあります。この場合、支給済

なやみごと相談はお気軽に

家庭内の問題や近隣とのトラブル、行政への苦情などについて、定期的に相談を受け付けています。

日時 毎月第1・3木曜日 午後1時30分～3時30分

場所 天神館（社会福祉協議会構）

人権擁護委員（敬称略）

多田 正則 伏石16-6 ☎67・1491

松田まつ枝 泉町12-30 ☎66・0823

堂東 昭子 中野46-41 ☎66・3710

松田八重子 城町7-4 ☎66・5534

上田 輝司 森政領家4-4 ☎65・1791

廣瀬 円昌 蕨生22-40 ☎65・4024

行政相談委員（敬称略）

吉田とみ子 本町3-1 ☎66・3261

三宅 嵩 天神町7-4 ☎65・0584

問い合わせ先

総務課行政係（☎66・1111内線244）

第47回市総体夏季大会

市体育協会

みの児童手当の返還を求められることがあります

届け出・問い合わせ先 福祉課児童福祉係（☎66・1111内線475）

前8時30分 エキサイト広場

バドミントン 6月13日☎午

前8時30分 有終西小学校

マレットゴルフ 6月13日☎

午前8時30分 真名川憩いの島

エスキーツニス 6月13日☎

午前9時 青少年教育センター

相撲 6月13日☎午前9時

エキサイト広場

ゴルフ 6月20日☎午前7時

フクイカントリークラブ

陸上 6月27日☎午前9時

奥越ふれあい公園

問い合わせ先 スポーツ課

（☎66・1111内線532）

ゲートボール 6月13日☎午

前8時 市営ゲートボール場

ソフトボール 6月13日☎午

前8時30分 市民グラウンド

卓球 6月13日☎午前8時30

分 陽明中学校

バウンドテニス 6月13日☎

午前9時 小山小学校

バレーボール 6月13日☎午

「初夏の大野ふれあい市民号」

～越美北線で浜名湖花博へ～

日時 6月25日(金)～26日(土) (1泊2日)
行き先 浜名湖花博、豊川稲荷、トヨタ博物館
宿泊先 蒲郡温泉 ホテル竹島
参加料 大人1人29000円
 ※2人1室を希望する場合は1人5000円、3人1室の場合は1人3000円の追加料金が必要(部屋数に限りがあります)

定員 80人(先着順)

申込締切日 6月14日(日)

その他 「親子で行くUSJ大野ふれあい市民号」は8月21日(土)に実施予定です

申し込み・問い合わせ先

生活環境課市民生活係 (☎66・1111内線463)
 またはJR越前大野駅 (☎66・3350)



各種教室の参加者募集

勤労青少年ホーム

●シルバーアクセスサリ教室

日時 6月7日(日)午後7時
定員 10人

参加料 2000円

申込締切日 6月4日(金)

●フラメンコ体験教室

日時 6月13日～11月28日
 毎月第2・4日曜日 午前10時～(全12回)

定員 15人

参加料 無料

申込締切日 6月7日(日)

準備物 Tシャツ・丈の長いフレアスカート・5センチ

●インドカレー作り教室

日時 6月17日(土)午後7時～
定員 15人

参加料 1000円程度

申込締切日 6月11日(金)

準備物 エプロン・タオル

●カフェのデザート作り教室

日時 7月6日(土)午後7時
定員 15人

参加料 500円

申込締切日 6月28日(日)

準備物 エプロン・タオル

●場所 勤労青少年ホーム

申し込み・問い合わせ先

勤労青少年ホーム(☎65・7221)

までのパンプス

メールで通報119

大野地区消防本部

大野地区消防本部では、耳や言葉が不自由で会話による通報が困難な人を対象に、メールで通報できるシステムを6月1日から始めました。

このシステムを利用するには、届け出が必要です。届け出書は、大野地区消防本部、福祉課、社会福祉協議会で配布しています。

※和泉村の人も利用できます
申し込み・問い合わせ先

大野地区消防本部(☎66・0119)

注意しましょう 風しん感染や食中毒

保健センター

今年に入り、風しんが流行しています。妊娠初期の人は感染すると、胎児に影響が出る可能性があります。特に注意が必要です。妊娠前の人などは、予防接種を受けることをお勧めします。

また、O157などによる食中毒が発生しやすい時期です。食事前の手洗いなど、予防につとめましょう。

問い合わせ先 保健センター(☎65・7333)

各種委員の募集

介護保険運営協議会委員

広く介護保険の意見を集め、制度の運営を検討するため、委員を募集します。

募集人員 3人

応募資格 市内に1年以上住む40歳以上の介護保険被保険者

任期 2年

申込方法 介護保険または老人福祉に関する作文を、1200字以内にまとめ、住所、氏名、電話番号を記入し提出(郵送可)

申込締切日 6月18日(金)必着

申し込み・問い合わせ先
 〒912-8666 大野市天神町1-1
 福祉課高齢福祉係
 (☎66・1111 内線481)

大野市地域医療協議会委員

地域医療について皆さんからの意見を反映するため、委員を募集します。

募集人員 2人

応募資格 市内に住む20歳以上で地域医療に関心のある人

任期 平成16年8月～平成18年3月

申込方法 「大野市の地域医療について思う」をテーマに400字程度にまとめ、住所、氏名、年齢、電話番号を記入し提出(郵送可)

申込締切日 6月25日(金)必着

申し込み・問い合わせ先
 〒912-0061 大野市篠座117-6-1
 保健衛生課保健衛生係
 (☎65・7333)

会長杯少年野球大会

市軟式野球連盟

日時 6月19日(土)・26日(土) 午前8時～

会場 奥越ふれあい公園

参加料 1チーム8000円
参加資格 平成16年度県野球

連盟登録チーム

申込締切日 6月12日(土)

その他 6月12日(土)午後7時30分からエキサイト広場で代表者会議を行います

申し込み・問い合わせ先 市軟式野球連盟事務局・宮崎

泰樹さん(☎65・6347)

